

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：農業費 目：農業総務費 ほか
担当課	農林水産総務課 ほか
事業名	公共事業（平成30年7月豪雨災害分）（再掲）

目的

「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づき、一日でも早い復旧・復興と更なる発展に向けた新たな広島県づくりに全力をあげて取り組む。

事業説明

事業内容

○ 平成30年7月豪雨災害分

《将来に向けた強靱なインフラの創生》

・ 事業区分別

（単位：千円）

区 分	当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 [繰越額]
補助公共事業	4,119,473	5,799,371	1,317,443 [繰越 4,480,925]
国直轄事業負担金	251,647	187,314	161,417 [繰越 25,897]
単独公共事業	1,134,745	1,134,745	398,717 [繰越 701,356]
単独建設事業	767,460	767,460	269,445 [繰越 465,166]
維持修繕費	367,285	367,285	129,272 [繰越 236,189]
小 計	5,505,865	7,121,430	1,877,577 [繰越 5,208,178]
災害復旧費	465,200	465,200	61,592 [繰越 403,608]
合 計	5,971,065	7,586,630	1,939,169 [繰越 5,611,786]

※令和3年度9月、12月（追加分）及び2月補正予算を含む。

※端数処理の関係で積み上げた数値と合計額等が異なる場合がある。

・ 分野別（災害復旧費を除く）

（単位：千円）

区 分	当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 [繰越額]
農業農村整備事業	2,205,844	3,039,777	767,540 [繰越 2,267,388]
漁場事業	—	—	— [—]
治山事業	3,300,021	4,081,653	1,110,037 [繰越 2,940,790]
林道事業	—	—	— [—]
造林事業	—	—	— [—]
総合維持修繕費	—	—	— [—]
合 計	5,505,865	7,121,430	1,877,577 [繰越 5,208,178]

※令和3年度9月、12月（追加分）及び2月補正予算を含む。

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標：

山腹崩壊等の発生箇所における山地災害対策

「ため池の整備・廃止・管理等に関する方針」に基づく、ため池の廃止工事

○ 実績：

・ 平成30年7月豪雨災害分

《将来に向けた強靱なインフラの創生》

区 分	箇 所 名 称 等
災害復旧事業	・ 治山施設 (田野原地区(呉市), 山田地区(三原市)ほか)
災害関連事業	・ 治山激甚災害対策特別緊急事業 (田野原1地区(呉市), 平山地区(東広島市)ほか) ・ 直轄治山事業費負担金 (東広島地区(東広島市)) ・ 小規模崩壊地復旧事業 (大元谷山地区(広島市), 川原田地区(府中市)ほか)
ため池の総合対策 (廃止工事)	・ 県営ため池等整備事業 (延相大池地区(呉市), 水溜上池地区(福山市)ほか)

令和4年度の取組方向

○ 平成30年7月豪雨災害や令和3年7月・8月豪雨災害等からの、一日でも早い復旧・復興に全力をあげて取り組む。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費 ほか
担当課	土木建築総務課 ほか
事業名	公共事業（平成30年7月豪雨災害分）（再掲）

目的

「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に掲げる、災害復旧事業や改良復旧事業などに着実に取り組み、再度災害防止に努めるとともに、公共土木施設等の強靱化を推進する。

事業説明

事業内容

(単位：千円)

区 分	当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 [繰越額]
公共事業費	6,016,900	20,426,199	3,733,819 [繰越 16,692,344]
補助公共事業費等	5,012,900	19,072,199	3,121,884 [繰越 15,950,279]
補助公共事業費	4,238,900	17,888,532	1,938,253 [繰越 15,950,279]
国直轄事業負担金	774,000	1,183,667	1,183,631 [-]
単独公共事業費	1,004,000	1,354,000	611,935 [繰越 742,065]
建設事業費	1,004,000	1,354,000	611,935 [繰越 742,065]
維持修繕費	—	—	— [-]
災害復旧費	—	5,695,000	313,846 [繰越 5,381,154]
合 計	6,016,900	26,121,199	4,047,665 [繰越 22,073,498]

※特別会計計上分を含む。

※令和3年度6月、9月及び12月補正（追加分）予算を含む。

(単位：千円)

区 分	当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 [繰越額]
一般会計	6,016,900	20,426,199	3,733,819 [繰越 16,692,344]
道路事業費	—	—	— [—]
河川事業費	4,479,400	8,297,100	2,074,001 [繰越 6,223,099]
砂防事業費	1,537,500	12,129,099	1,659,818 [繰越 10,469,246]
海岸事業費	—	—	— [—]
港湾事業費	—	—	— [—]
空港事業費	—	—	— [—]
漁港事業費	—	—	— [—]
街路等事業費	—	—	— [—]
公園事業費	—	—	— [—]
総合維持修繕費	—	—	— [—]
特別会計	—	—	— [—]
住宅事業費	—	—	— [—]
合 計	6,016,900	20,426,199	3,733,819 [繰越 16,692,344]

※端数処理の関係で積み上げた数値と合計額が異なる場合がある。

※令和3年度6月及び12月補正（追加分）予算を含む。

※災害復旧費を除く。

令和3年度の成果目標と実績

- 事業目標
 - ・ 平成30年7月豪雨災害等からの創造的復興

- 実績
 - ・ 平成30年7月豪雨分

区 分	箇 所 名 称 等
災害復旧事業	道路（尾道新市線（第1567号）、河戸豊栄線（第4358号）ほか） 河川（棕梨川（第5200号）、黒瀬川（第5582号）ほか） 砂防（畑賀川（第4618号）、天地川（第4626号））ほか
災害関連事業	<ul style="list-style-type: none">・ 河川災害復旧助成事業（三篠川）・ 河川激甚災害対策特別緊急事業（沼田川）・ 河川等災害関連事業（ひよき川）・ 砂防激甚災害対策特別緊急事業（天地川 ほか）・ 広島西部山系直轄特定緊急砂防事業・ 安芸南部山系直轄特定緊急砂防事業

令和4年度を取組方向

【豪雨災害からの早期の復旧・復興】

- 平成30年7月豪雨災害対応においては、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づき、災害復旧事業や再度災害防止事業及び改良復旧事業など着実な事業実施に取り組み、早期完成を目指して事業を推進する。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：土木費 項：土木管理費 目：建設業指導監督費
担当課	建設産業課
事業名	建設技術者等雇用助成事業（単県）

目的

平成30年7月豪雨災害を踏まえ、県民の安全安心を守るための防災減災対策等を推進していくに当たり、県内建設業者において、工事を着実に実施していけるよう、不足している建設技術者等を確保するため、県内建設業者に対する支援を行う。

事業説明

対象者

土木一式工事又はとび・土工・コンクリート工事の県入札参加資格を有し、県内に主たる営業所を有する建設業者

事業内容

(単位：千円)

内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
<p>事業主への助成</p> <p>○ 一定の資格を有する70歳未満の者を、1年以上継続して雇用する事業主に対して、助成金を支給する。 【資格要件】 土木一式工事又はとび・土工・コンクリート工事の主任技術者要件を満たす者、車両系建設機械オペレータ(雇入れから6か月以内の取得者を含む) 【居住地要件】 県外在住者、他業種から転職した県内在住者</p> <p>雇入開始期間：令和4年3月末まで 助成期間：1年間 助成金額：60万円/年(50万円/年※) ※中小企業(資本金または出資の総額が3億円以下または常時雇用する労働者300人以下の企業)以外の場合</p> <p>○ 県内外在住の60歳以上の有資格者について、国の助成金制度を活用して、確保を図る。 【非予算】</p>	(債務11,100) 20,400	(債務11,100) 20,400	8,100 [-]
合 計	(債務11,100) 20,400	(債務11,100) 20,400	8,100 [-]

令和3年度の成果目標と実績

- 事業目標：一定の資格を有する70歳未満の者の新規雇用 34名
- 実 績：令和3年度は、16名に支給決定を行った。

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 県内建設事業者は、就業者の過半数以上が50歳以上で高齢化が進展し、また、建設業界への求職者は少なく、短期間で離職するものも多いため、技術者等の減少傾向が続いている。
- 令和3年度は、新型コロナの拡大や長期化に伴う先行きへの不透明感等により、転職者が減少傾向となり、制度を活用した技術者等の新規雇用が減少した。
- 離職者に対しては、「新型コロナウイルス感染症対策建設労働者雇用促進事業」の支援制度を活用し、引き続き雇用する技術者等で要件を満たす者については、この制度により継続支援した。
- 助成金事業のみでは、目標値を大きく下回り、技術者等の増加の実現は困難であることから、他の施策と併せて、技術者等の確保に取り組む必要がある。

令和4年度の実行方向

- 建設技術者等の減少が見込まれる中、建設業の担い手不足を改善し、防災減災対策等を着実に実施するため、国の助成事業を活用した人材確保や、次世代への建設業の魅力発信等の担い手確保・育成の取組とともに、助成金制度の活用により技術者等の確保を支援する。
- また、週休2日モデル工事の拡大等の労働環境の改善を図る取組や、ICT活用工事の拡大等、デジタル技術の活用等による生産性向上の取組を重点的に進める。
- なお、県発注工事において、技術者の兼務制限の緩和、近接する複数工事の一括発注による発注件数の抑制及び入札参加要件の緩和等の技術者不足に応じた施策の継続を図る。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：資本的支出 項：建設改良費 目：建設工事費
担当課	水道課
事業名	県営水道施設の強靱化対策事業

目的

平成30年7月豪雨災害等を踏まえ、すべての水道施設の被災リスクを改めて洗い出し、必要な対策を実施することで、災害や事故等に強い水の安定供給体制を構築する。

事業説明

事業内容

被災した水道施設について、再度災害の防止対策を実施するとともに、被災のおそれのある箇所についても、被災の未然防止対策を実施する。

(単位：千円)

区分	内 容	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
浸水対策	○水道施設について、場内や施設内への浸水防止対策を実施 ・高陽取水場（広島市共同施設）、戸坂取水場（広島市）、浦崎加圧ポンプ所（尾道市）外4施設	2,204,647	1,503,977	1,247,071 [34,321]
水管橋対策	○水管橋の防護対策を実施 ・4号トンネル水路橋（海田町）	98,000	96,330	75,330 [20,000]
地震対策	○既設管の更新工事に合わせて耐震管への更新を実施 ・音戸倉橋ライン（江田島市柿浦地区）、東部配水支線（広島市南区）外2区間	(債務 2,330,000) 819,600	(債務 2,330,000) 773,100	728,183 [4,000]
二期 トンネル	○送水トンネル（6号トンネル）の二重化を実施 ・トンネル整備工事 ・水文調査 ・付帯工事等	(債務 631,000) 3,429,683	(債務 631,000) 2,776,985	2,194,899 [36,390]
合 計		(債務 2,961,000) 6,551,930	(債務 2,961,000) 5,150,392	4,245,483 [94,711]

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標

「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づき、被災した水道施設の再度災害の防止対策及び被災のおそれのある箇所の未然防止対策を着実に進める。

○ 実績

区 分	実 績
浸水対策	・対象 10 施設全ての対策を完了
水管橋対策	・対象 3 施設全ての対策を完了
地震対策	・ 5 区間のうち、3 区間で対策を完了 ・ 2 区間で工事を進めており、令和 7 年度に完了予定
二期トンネル	・掘削延長 14.3km のうち、令和 4 年 3 月末時点で 10.8km を完了

令和 3 年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 浸水対策及び水管橋対策については、対象の全ての施設で対策を完了している。
- 二期トンネルについては、掘削深度の浅い区間で非常に硬い岩盤が出現したことにより、工事進捗に遅れが生じたことから、追加ボーリング調査を実施し、その調査結果と掘削実績を踏まえ、残りの掘削区間の地質の再設定を行い、工事完了時期を令和 7 年度に見直した。

令和 4 年度の実績と取組方向

- 地震対策については、管路更新に合わせて計画的に整備を進める。
- 二期トンネルについては、二度にわたり工期の延長及び工事費の増額という状況に至ったことを踏まえ、必要に応じてトンネル工学等の専門家から技術的な意見・助言を求めながら、工事の進行管理を徹底し、令和 7 年度中の完成に向け、事業を推進する。